

事業継続マネジメント(BCM)

事業継続能力向上に向けた取り組み

富士通および国内グループ会社は、社会インフラを担う企業としての社会的責任を果たすため、各事業や拠点単位における事業継続上の課題を整理・分析し、事業継続能力の強化・向上を目的とした訓練を継続的に実施しています。

事業継続におけるマネジメント、教育・訓練の実施、目標復旧時間以内に事業を再開するための対策などについて、到達レベルを調査・評価するために事業継続能力調査を行っています。これにより富士通および国内グループ会社における達成すべき評価指標（レベル）の明確化、達成に向けた施策の実施を通して、適切な BCM 活動（作業負荷や投資の最適化）を推進しています。

BCM に関するスペシャリストの育成

BCM の普及・定着・改善を図るために、BCP の本質を理解し実際の BCM 活動を適切に運用できるスペシャリストを計画的に育成し、自部門や自社での BCM 活動を推進しています。

感染症対策

富士通および国内グループ会社は、「生命の安全確保」、「感染拡大の防止」、「事業継続」の3つを柱とした感染症対策の基本方針を示した「感染症対策ガイドライン」に基づいて、新型インフルエンザ、新型コロナウイルスを含む感染症に関する対策を講じています。

上記ガイドラインに加え、新型インフルエンザ・新型コロナウイルスに関して、それぞれ「基本行動計画」「事業継続計画（BCP）」を策定し、感染予防と感染拡大防止策を実施するとともに、事業継続による社会的責任の遂行に取り組んでいます。

サプライチェーン全体の BCM 強化

不測の事態発生時に製品・サービスを安定的に供給するためには、サプライチェーン全体の事業継続能力強化が不可欠です。富士通および国内グループ会社は、お取引先様の事業継続能力の向上への支援など、サプライチェーン全体での BCM 活動を推進しています。詳細は、こちらをご参照ください。

- ・ お取引先とともに「サプライチェーン BCM の強化」

<https://www.fujitsu.com/jp/about/csr/procurement/>